

滋賀で育むエンジニア 時代に求められる実践力を

滋賀県立高専

2028年4月開学（予定）



INTERVIEW

三日月 大造氏
滋賀県知事

1971年生まれ。滋賀県大津市出身。94年一橋大学経済学部卒、西日本旅客鉄道入社。2002年松山政経塾、03年衆議院議員初当選。国土交通副大臣などを歴任し、14年から滋賀県知事。

滋賀県で初めての高等専門学校が2028年4月、県南部の野洲市に誕生する。グローバル企業の工場や研究所が多く立地する国内有数のモノづくり県でありながら、これまで高専がなかった滋賀県。新たな高専ではどのような学びを提供し、どのような人材を育てるのか。滋賀県立高等専門学校の設置をけん引してきた、三日月大造知事に聞いた。

地元の強い期待を受けて

滋賀県立高等専門学校の開校に向け、着々と準備を進めています。電気機械や輸送用機械、化学工業など様々な工場が集積する日本有数の内陸工業県でありながら、滋賀県にはこれまで高専がありませんでした。毎年60～80人の生徒が県外の高専に進学しており、子どもを地元の高専に通わせたいという要望が根強くありました。そこで14年に私が滋賀県知事に立候補した際、県内に高専を設置することを公約に掲げ、県立高専を設置する運びとなりました。

高専の課題を克服

県立の高専ですから、行政とも連携します。課題解決型学習（PBL）を活用しながら、防災や環境、医療、福祉、農業などの社会課題に対し、エンジニアの技術力で解決策を見いだしていくことにも期待しています。既存の高専が抱えている課題を克服すべく、女子生徒も入りやすい環境を整えたい。また中・長期的には、外国からの留学生も積極的に受け入れ、世界に開かれた高専にしたいと考えています。

ていきます。

新しい高専は、地域の特性を生かした、豊かな学びの場としたいと考えています。キャンパスを設置する野洲市は、古くから豊かな歴史文化が育まれてきた地域です。北陸、中部、近畿のクロスポイントであるという利便性から、周辺には大学や高校、企業といった知的産業基盤が集積しています。こうした地の利を生かし、近隣の教育機関や企業との連携を積極的に進めます。

これからの社会を支える技術を学ぶ



琵琶湖の自然と共生

キャンパスを置く野洲市は琵琶湖に面し、市内には近江富士と呼ばれる三上山、野洲川など豊かな自然環境があります。建設予定地の森の一部を「根源の森」として残し、キャンパス内にも自然を感じられる場所を設けようという話をしています。高専には中学を卒業したばかりの、多感な年齢の子ともたちが集まります。学生たちを温かくサポートし、周囲の自然や季節の移ろい、地域の人々や食との触れ合いを大事にしながら、血の通ったエンジニアを育てていきたいなと思っています。

知の拠点、イノベーションのハブとなる新たな学校を創るということは、とても夢のあることです。すべての人にとって夢が広がる場所、一緒に新たな価値を創造する場所として滋賀高専を創っていききたい。夢を描き、実現したい若い人たちが滋賀高専は待っています。また、「知行合一」の若きエンジニアを一緒に育てようという企業・団体等の皆さんの参画を歓迎します。夢を一緒につくりましょう。

高専に期待される高度専門人材の育成はもちろんですが、同時に自然を慈しみ、自分のことだけでなく周囲の人々や世間、未来をよくしようという思考がとても大事だと思っています。近江で古くから受け継がれる「三方よし」の経営哲学や、近江聖人と称えられた江戸時代の儒学者、中江藤樹先生の教えをエンジニアとして体現してほしい。知識と行動・実践がセットになった「知行合一」の人材育成を目指します。



北村 隆行氏
滋賀県立高等専門学校
初代校長（予定）

「知行合一」で日本の未来を担うエンジニアを育む

日本の発展基盤は、技術力です。それを支える高度専門人材が50年余りのエンジニア人生を幸せに全うするために必要な基礎を構築することこそが、教育の基本です。科学的知識と合理的行動を兼ね備えた「知行合一」の精神が大切であり、変わりゆく技術とともに歩み続けることができる強靱(きょうじん)な地力形成が肝要です。滋賀県立高専は、①基礎重視②産業技術の新たな根幹である

情報科学と各専門分野との融合③実践力涵養(かんよう)による地力形成——に取り組んでいく予定です。そうした地力の育成には企業・研究所・大学など学外とのコラボレーションも重要です。恵まれた立地環境を生かして、皆さんの協力を頂きながら日本の未来を担うエンジニアの故郷となる学校を創っていききたいと考えています。

企画・制作＝日本経済新聞社
Nブランドスタジオ

広告

滋賀県立高専を応援します！

「変化こそ正義」岡安ゴムは挑戦を続ける滋賀県立高等専門学校の学生を全力で応援します！
モノづくりにブレイクスルーを行い、製造業のプロとして共に未来を拓きましょう。



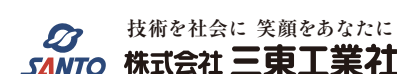
オムロンは滋賀で、エネルギーソリューションを担う社会システム事業と工場の自動化に貢献する制御機器事業の開発・生産を行い、社会的課題の解決に取り組んでいます。高専の皆さんと「よりよい社会」を共創する日が待ち遠しいです。



京セラは滋賀県立高専とその生徒の皆さんのチャレンジを心より応援しています！
滋賀で培った高度な専門性と問題解決力が、世界中の幅広い分野で発揮され、新たな価値を創造することを期待しています。



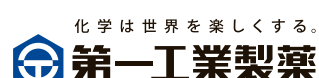
この度、滋賀に高等専門学校が開校されること、心よりお祝い申し上げます。人が何よりも大切であるという理念のもと、未来を担う素晴らしい人材が育ち、ともに湖国の発展に貢献されることを期待し、応援いたします。



地域産業・モノづくりの次世代を担う若き人財が、滋賀の地で高度な技術を身に付けられ、活躍される未来を心待ちにしております。弊社も、貴校と共にPBLやインターンシップで連携し、滋賀の未来を盛り上げていきたいと思ひます。



東近江市に工場を持つ企業として、滋賀県立高専の開校を心より応援します！
新しい時代を開拓するSTEAMな近江商人が育成・輩出されることでしょ。ともに切磋琢磨し、地域の未来に貢献していきましょう！



当社は人々の健康と快適を支え、空気と環境の新しい価値を創る空調メーカーです。開校の精神に深く共感し、様々な協創のうえ、夢をもって社会課題の解決に挑戦していくエンジニアの育成に寄与できれば幸いです。



滋賀県立高専の開校を心より応援しております。滋賀から、世界で活躍する「知行合一」を備える技術者が多く輩出され、エンジニアを目指す皆さんが新しい時代にふさわしい人へと成長されることを待望しております。



将来を担う若者たちが知識を高め、技術を錬磨し、大きな期待と誇りを胸に社会で活躍する未来を願い、同じ地域の企業として共創していけることが楽しみです。イノベーションでワクワクする未来と一緒に創造しましょう！

